

公開講座「合唱」 2単位 土曜日 山中臨在

合唱は合唱受講生(神学生、一般)、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位修得のためには、授業出席の他、教師によって求められる課題を提出すること。教会音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。本授業は教会音楽科学生在学中は履修を必修とする。

「指揮法Ⅰ」 4単位 土曜日 山中臨在

指揮法基礎の理論と実践。指揮の基本的パターンの習得。指揮の目的、指揮者の役割と働き。会衆賛美における指揮の学び。

「楽典・ソルフェージュ」 4単位 土曜日 十時節子

音楽の基礎として、【楽典】【視唱】【リズム】【読譜】【聴音】など実習を通して学んでいきます。特に読譜に必要な音楽知識は一から学んでいきますので、教会音楽科の学生だけでなく賛美歌をリードするため神学科や教会教育科の学生にも是非受講をお勧めいたします。豊かな賛美を捧げるためにも音楽の基礎を学び、教会音楽の実践として活用できるように音楽力を身につけていきます。指揮法を学ぶためにはこの課目受講が必須となります。[テキスト]①「大人のための楽典ワーク(コード・ネーム編)」ドレミ出版、②「8小節のソルフェージュ」全音楽譜出版、③新生讃美歌

「作曲・編曲」 4単位 土曜日 十時節子

音楽の調性、メロディー、リズム、和声など作曲の基本を学んでいきます。編曲に関しては合唱曲への編曲、器楽曲への編曲、コンテンツ多様な音楽への編曲など、さまざまな音楽に対応できるスキルを習得していきます。またそれに必要な楽器の音域、楽譜の書き方、できればPC音楽ソフトの使用方法も学べるようにしたいです。編曲・作曲の作品提出が必須。[テキスト]①新版 実用和声学―旋律に美しい和音をつけるために―中田喜直著/音楽乃友社、②教会音楽ハンドブックⅢ―岩坂憲和・大谷レニー・木村敏子・水口憲子・D・A モック共著/日本バプテスト連盟、③新生讃美歌

連続公開講座「信徒のための説教Ⅱ」 4単位 毎週金曜日(18:30～20:30)

開講日	学習テーマ及び内容	担当講師(敬称略)
1 2020年4月10日	オリエンテーション:講義の進め方(事務局) 講義「パウロについて」(内藤淳一郎) 講義「コリント書について」(安藤榮二)	安藤榮二・内藤淳一郎
2 4月17日	講義「説教についてⅠ」(私の説教論) ～なぜ信徒が説教を学ぶのか	安藤榮二
3 4月24日	講義「第一コリント12章12-31節の釈義と黙想」 (説教レジメの制作のために)	安藤榮二
4 5月1日	・第一コリント12章12-31節釈義レポートの提出(A4、1枚) ・レジメに対する講師コメントと質疑応答	受講生・安藤榮二
5 5月8日	講義「第一コリント12章12-31節の説教をどう描いていくのか」 (「私はこう説教した」、講師説教の提示+加藤常昭説教集から)	安藤榮二
6 5月15日	・第一コリント12章12-31節の受講生説教の提出(A4、2-3枚) ・説教に対する講師コメントと質疑応答	受講生・安藤榮二
7 5月22日	・ゲスト説教者による第一コリント12章の説教 (私はコリント12章の説教をどのようにして作成したのか)	ゲスト講師・安藤榮二
8 5月29日	講義「説教についてⅡ」(私の説教論) ～なぜ信徒が説教を学ぶのか	内藤淳一郎
9 6月5日	講義「第一コリント13章1-11節の釈義と黙想」 (説教レジメの制作のために)	内藤淳一郎
10 6月12日	・第一コリント13章1-11節の釈義レポートの提出(A4、1枚) ・レジメに対する講師コメントと質疑応答	受講生・内藤淳一郎
11 6月19日	講義「第一コリント13章1-11節の説教をどうえがくか」 (「私はこう説教した」、講師説教の提示+加藤常昭説教集から)	内藤淳一郎
12 6月26日	・第一コリント13章1-11節の受講生説教の提出(A4、2-3枚) ・説教に対する講師コメントと質疑応答	受講生・内藤淳一郎
13 7月3日	・ゲスト説教者による第一コリント13章の説教 (私はコリント13章の説教をどのようにして作成したのか)	ゲスト講師・内藤淳一郎
14 7月10日	第一コリント12章の受講生説教の発表とコメント	安藤榮二
15 7月17日	第一コリント13章の受講生説教の発表とコメント	内藤淳一郎



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp



2020年度前期 東京バプテスト神学校受講案内

本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

- 【願書受付】 ・入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)
* 願書に必要事項を記入の上、3月6日(金)までに郵送してください。
* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)
* 専攻科入学希望者には、教会総会の推薦を必要とします。

- 【試験面接】 3月26日(木)午後6時30分
* 入学・聴講面接(但し専攻科は筆記試験と面接)
* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

- 【入学式・オリエンテーション】
4月3日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会
* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

- 【学 期】 ・前期 4月6日(月)～9月30日(月)
<夏期休業 8月1日(水)～8月31日(金)>
・後期 10月7日(月)～2021年3月31日(火)
<冬期休業 12月14日(月)～2021年1月2日(土)>

- 【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

- 【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分～8時30分
* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分～午後3時30分

- 【入学金】 ・本科・専攻科 100,000円
・信徒リーダー養成コース 50,000円
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000円

- 【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1課目4単位25,000円、2単位12,500円
・聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円
・専攻科 年間200,000円
(*卒業生は面接、試験、推薦状、入学金、設備費不要)

- 【設備費】 一律10,000円(年間)

- 【通信受講】 通信受講の場合、4単位当たり10,000円の通信事務費が必要です。

- 【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。但し面接は必要です。
・卒業生、連盟加盟教会牧師は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。なお、後援会会員は公開講座に限り半額で受講できます。

2020 年度前期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(敬称略)
月	神学特講・新約釈義～ヨハネ福音書を読む	4	共通選択	川口通治・高木康俊・坂元俊郎
月	教会史Ⅰ(古代～中世)	4	共通選択	坂本誠
火	礼拝学Ⅱ(礼拝実践)	4	共通選択	内藤淳一郎・松村誠一・菊地るみ子
火	組織神学Ⅱ	4	専攻科必修	木村一充・川口通治
木	牧会カウンセリング	4	共通選択	古家良子
木	ヘブライ語初級	4	専攻科必修	村中範光
金	連続公開講座「信徒のための説教Ⅱ」	4	共通選択	内藤淳一郎・安藤榮二+ゲスト講師
金	教会学校論	4	共通選択	矢野由美、坂元幸子+連盟教会教育室
土	合唱	2	音楽科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅰ	4	音楽本科必修	山中臨在
土	楽典・ソルフェージュ	4	音楽本科必修	十時節子
土	作曲・編曲	4	教会音楽科必修	十時節子
	教会実習(神学・教育専攻科)	6	専攻科必修	内藤淳一郎
夏期	夏期公開講座「旧約聖書を読む～創世記」	2	開講予定(2020.8.12～14)	月本昭男(上智大学教授)

2020 年度後期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(敬称略)
月	神学特講・旧約釈義～イザヤ書を読む	4	共通選択	城倉啓・川口通治
月	教会史Ⅱ(宗教改革～現代)	4	共通選択	坂本誠
火	教会教育概論	4	共通選択	矢野由美
火	キリスト教倫理(倫理と実践)	4	共通選択	吉田真司・連盟特別委員会
木	神学入門～なぜ今神学を学ぶのか	4	共通選択	松村誠一・田坂元彦
木	ヘブライ語中級	4	専攻科必修	村中範光
金	連続公開講座「教会音楽概論～礼拝賛美の活性化のために」	4	音楽本科必修 本科共通選択	江原美歌子・小松澤恵・十時節子・菊地るみ子他
金	説教演習	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	合唱	2	音楽科必修	山中臨在
土	礼拝音楽	4	音楽本科必修	菊地るみ子
土	指揮法Ⅱ	4	音楽本科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅲ	4	教会音楽科必修	山中臨在
	卒業論文(神学・教育専攻科)	6	専攻科必修	
冬期	冬期公開講座「旧約聖書を読む～ヨブ記」	2	開講予定(2020.12.28～29)	月本昭男(上智大学教授)

- ☛ 「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。
- ☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

2020 年度前期 課目案内

神学特講「新約釈義～ヨハネ福音書を読む」 4単位 月曜日 川口通治・高木康俊・坂元俊郎

ヨハネ福音書は冒頭で、「初めに言があった。言は神と共にあった。言葉は神であった」と語る。そして「私は世の光である」、「私は命のパンである」、「私はぶどうの木である」という象徴的なイエスの言葉が続く。ヨハネ福音書は初めから終わりまで、「イエスとはどなたであったか」というキリスト論に関心を集中する。万物に先立つ神のもとでの「先在」、人となってこられた「受肉」、地上における生と行動、十字架の死、死からの復活、天への帰還(昇天)、聖霊の派遣等の記述を信仰的に、同時に学問的に読んでいく。

「教会史Ⅰ(古代～中世)」 4単位 月曜日 坂本誠

本講義においては、古代～宗教改革の夜明けに至るまでのキリスト教史の流れを理解し、把握することを目標に致します。古代においては、救世主到来を囑望する世界から初めて、教会教父を経て、キリスト教が公認される中で起きたキリスト論論争そしてアウグスティヌスの生涯と思想までを学びます。中世においては、ヨーロッパ伝道、教皇権、修道生活を学び、アンセルムス、トマス・アクィナス等の人物に焦点をあてつつ、十字軍、宗教改革前夜までを講義していきます。教科書 フスト・ゴンザレス『キリスト教史上』初代教会から宗教改革の夜明けまで、石田学訳、新教出版社。評価は「出席」「レポート」を予定していますが、授業の中で、発表を担当していただき、その後に講義を行う形態をとります。

「礼拝学Ⅱ(礼拝実践)」 4単位 火曜日 内藤淳一郎・松村誠一・菊地るみ子

牧師になったときに必要な礼典理解等について学ぶ。

- ・松村誠一(5回):「教会暦と諸行事」、「週報の作り方」、「結婚式」、「死と葬儀」、「教会建築」
- ・内藤淳一郎(6回):「バプテストと式文」、「主の晩餐式」、「按手礼」、「バプテストマシ」、「教会の約束」、「招詞」、「主の祈り」、「交読文」
- ・菊地るみ子(4回):「礼拝プログラムの原則」、「礼拝の実際(礼拝のチーム・所作他)」、「牧師と音楽奉仕者のコミュニケーションと共有」、「礼拝堂建築と音響効果、家具等」

「組織神学Ⅱ」 4単位 火曜日 木村一充・川口通治

ユルゲン・モルトマン著「希望の倫理」を読んでいく。「希望の神学」(1964年)によってデビューしたモルトマンは、その後次々と意欲的な書物を著し、戦後神学界をリードしてきた。46年後、自らの神学的営為を総括する倫理学を発表した。バイオ技術と生命操作、開発と環境破壊、広がる格差と紛争、テロと管理社会など、複雑で困難な課題が山積する現代世界に対して、キリスト教はいかなるメッセージを発しうるのかを学んでいく。

「牧会カウンセリング」 4単位 木曜日 古家良子

教会の内外で、人生の苦悩を抱えて、その答えを見いだせないでいる人々に、教会はどう仕えていくのか、共に探究します。聖書が語る人間理解、生と死の意味、存在ゆえの苦悩と魂の癒し、など、考えます。牧会現場では避けて通ることのできない、今日的課題です。テキスト: 賀来周一著『キリスト教カウンセリングの本質とその役割』(キリスト新聞社)、ヘンリ・ナウエン著『静まりから生まれるもの』(あめんど)、参考資料: 熊澤義宣著『キリスト教死生学論集』(教文館)

「ヘブライ語初級」 4単位 木曜日 村中範光

「ヘブライ語初級」では、ヘブライ語の基礎を学びます。アルファベット、発音を始めに学びます。次に簡単なヘブライ語の聖句を使って文法を学びます。さらに、パソコンアプリの「Jバイブル ヘブライ語版」、及び ウェブサイトの「Bible Hub」を使って、創世記 1 章を学びます。新約聖書の理解に旧約聖書の理解は不可欠です。旧約聖書を原典で読める喜びをともに分かち合いたちと願っています。・教材:「聖書ヘブライ語文法(改訂版)」(小脇光男著、青山社)・参考資料:「Jバイブル ヘブライ語版」(いのちのこことば社)購入する必要はありません。

「教会学校論」 4単位 金曜日 矢野由美、坂元幸子、連盟教会教育室

教会学校の意味と意義、CSの基礎(CSの歴史)、バプテスト主義とCS、教会教育の日本での歴史、新しい「聖書教育」の使い方、CSの実際(発達課題と聖書の学び)、小グループによる共同学習と相互牧会、豊かな CS を求めて(礼拝と CS)等。教会学校教師の方はぜひご受講ください。